

- \* 彼らは答えて言った。「私たちの父はアブラハムです。」イエスは彼らに言われた。「あなたがたがアブラハムの子どもなら、アブラハムのわざを行いなさい。ところが今あなたがたは、神から聞いた真理をあなたがたに話しているこのわたしを、殺そうとしています。アブラハムはそのようなことはしなかったのです。（ヨハネ 8 : 39 ~ 40）子は父に似るもの。アブラハムは神に徹底的に従う信仰の人であった。今、彼が生きていたなら、「わたしはある」という者であり、真理であり、父のもとから来た者であるイエスを殺すことなどしなかっただろう。あなたがたの父がアブラハムであるはずがない、といわれる。
- \* 「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立つてはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。」（8 : 44）イエスは、ユダヤ人たちの父は「悪魔」とであると言われる。悪魔は真理を否定し、偽りのことばに満ちている。聖書の「悪魔」は、「サタン」とも訳され、「神に敵対する者」を意味する。「悪魔」の働きはエバを誘惑した時にさかのぼり、それ以来、人が罪や悪を起こす元となった。主イエスは、悪魔から荒野で誘惑を受け、それをすべて退けられた。悪魔は決してイエスに勝てないことを証明された。また、悪魔は、神の御計画の邪魔をしようとする。イエスが苦しみを受けて殺され、三日目によみがえると言われたとき、ペテロが「そんなことが起こるはずがない」と諫めた。そのとき、イエスは「下がれ、サタン。あなたは私の邪魔をするものだ」（マタイ 16 : 23）と言われた。神の御計画は「すべての人が救われて真理を知るようになる」（1テモテ 2 : 4）ことである。宣教のわざが妨げられるのはすべてサタンの仕業である。
- \* 「神から出た者は、神のことばに聞き従います。ですから、あなたがたが聞き従わないのは、あなたがたが神から出た者でないからです。」（8 : 47）イエスは神から出た方。神から遣わされた方。このイエスを信じる者もまた神から出た者として扱いを受け、神に守られる。「わたしはすでに世に勝ったのです。」（ヨハネ 16 : 33）と言われた主イエスの勝利は、十字架で実現し、よみがえりて明確になり再臨で揺るがないものとなる。この主イエスにどこまでもついていきたい。